

## シニア・壮年・中堅部（仮称）交流会に参加して

講師：兼子厚之さんの記念講演を聞いて、「組合員のくらしに依拠した活動」となっているのだからか？との問いかけに、う～ん！そうっていないよなあ。生協として存在し続けるためには、やはりそことを抜きにはできないよなあ。と改めて思いました。

生協の都合での仕事となっていなかっただろうか？

そう言われてみれば、…。

厳しい時代だからこそ、原点に戻って、組合員さんの目線に立った活動をしなくてとはとハットさせられました。

ベテラン職員への期待や役割を語られ、厳しい働く環境の中で、いかにモチベーションを上げていくのかを考えさせられました。

分散会では、他生協の方との交流ができ、とっても厳しい環境の中で働いている仲間がいることを知りました。成果主義人事制度の弊害も少し見えたように思います。

全体を通して、まずは、同じ世代の仲間と集まって話し合える場が必要だと感じました。〇〇部会としての活動を期待しています。